

# システム変更等のお知らせ

(2019.11.5 - 2020.1.8 変更)

## 1. ハードウェア

- 1.1 Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.2 Oakforest-PACS スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.3 Reedbush スーパーコンピュータシステム (Reedbush-U/H/L) … なし

## 2. ソフトウェア

### 2.1 Red Hat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakbridge-CX)

ffmpeg	3.4.6	(2019.11.29)
eog	3.28.3	(2019.11.29)
Intel 開発環境 2019 (update5)		(2019.11.29)
Intel Compiler	2019.5.281	
Intel MPI	2019.5.281	
Intel 開発環境 2017 (update4)		(2019.11.29)
Intel Compiler	2017.4.196	
Intel MPI	2017.4.196	

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

### 2.2 RedHat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakforest-PACS)

ffmpeg	3.4.6	(2019.11.29)
--------	-------	--------------

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

### 2.3 RedHat Enterprise Linux 7 (Reedbush-U/H/L)

PGI 開発環境	19.10	(2019.11.29)
chainer	7.0.0	(2020.01.08)

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのドキュメント閲覧より利用手引書または各資料をご覧ください。

## 3. その他

### 3.1 Reedbush-U サービス終了について

Reedbush-U スーパーコンピュータシステムは 2020 年 6 月末をもってシステムを停止し、すべてのサービスを終了致します。なお、Reedbush-H/L は 2020 年度について運用を継続する予定です。詳細について決まり次第 Web ページ、メール、スーパーコンピューティングニュースにて順次ご連絡致します。

Reedbush-U サービス終了にあたっては以下の点にご注意ください。

- サービス終了後のスーパーコンピュータのご利用につきましては Oakbridge-CX、Oakforest-PACS、Reedbush-H/L をご検討ください。

- 一般利用にて Reedbush-U をご利用の方は「トークン移行」を行うことが可能です。Oakbridge-CX、Oakforest-PACS への移行をご検討の利用者様につきましては「トークン移行」も併せてご参考ください。「トークン移行」についての詳細は Web ページ([https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/guide/application/transfer\\_token.php](https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/guide/application/transfer_token.php))をご参照ください。

### 3.2 Reedbush-L における l-debug キュー新設について

Reedbush-L の状況を鑑みて、11 月 29 日（金）月末処理終了後よりデバッグの際に利用するための短時間ジョブ用のキューとして l-debug キューを新設いたしました。詳細は以下のとおりです。

- ◆ l-debug キュー
  - 並列数（ノード数）：1～4
  - 制限(経過)時間：30 分
  - メモリー容量(GB)：244

### 3.3 Reedbush における MPI コンパイラのデフォルトオプションの変更について

Reedbush において 12 月 20 日（金）月末処理終了後より以下のモジュールの MPI コンパイラのデフォルトオプションから「-fpic」オプションが除外されました。必要に応じて、本オプションを追加してください。

- mvapich2/gdr/2.3a/gnu (mpicc,mpicxx,mpif77,mpif90,mpifort)
- mvapich2/gdr/2.3a/pgi (mpicc,mpicxx,mpif77,mpif90,mpifort)

### 3.4 Reedbush における高速ファイルキャッシュシステム IME のご利用について

Reedbush システムにおける高速ファイルキャッシュシステム(DDN IME)のご利用にあたっては、これまで利用者様に事前のお申し込みを行っていただいております。この度 12 月 20 日（金）月末処理終了後より IME を事前のお申し込みが無くても Reedbush 全利用者様が使用できるようサービス変更させていただきました。

IME 利用に際して、追加のご負担金等は発生いたしません、利用方法が /lustre など通常のファイルシステムと異なっておりますので、ご利用前に必ず以下の資料をご確認ください。

- Reedbush 利用支援ポータル「IME（高速キャッシュファイルシステム）利用の手引き」(<https://reedbush-www.cc.u-tokyo.ac.jp/man/documents/ime-manual-20180702.pdf>)